

架橋ポリエチレン管・継手 使用上の注意

1. 保管時

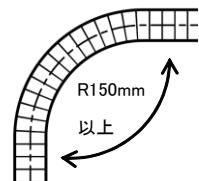
- (1) ペンキや有機溶剤は、製品を劣化させる場合がありますので、一緒に保管しないでください。
- (2) 直射日光が当たらない屋内にて保管してください。

2. 施工時

- (1) 下記薬品等により品質劣化の恐れがありますので、接触させないでください。
 - ・ 有機溶剤(ベンゼン、アセトン、キシレン、トルエン、灯油、ガソリン、発泡ウレタン等)
 - ・ 防腐剤、防蟻剤、殺虫剤、除草剤
 - ・ 軟質塩化ビニル等の可塑剤を含んだ材料
 - ・ 塗料(ペンキ、マジックインキ等)
 - ・ 接着剤(塩ビ接着剤等)
- (2) 水漏れ抑制のため、継手に付属しているパッキンは使用せず、エコキュートに付属のヒートポンプ配管専用パッキンまたは、別売品のヒートポンプ配管専用パッキン(4 枚入) (型式: BH-PACKING または BH-PACKINGA) を使用してください。なお、専用パッキンは接続口に各 1 枚ずつ使用し、2 枚重ねで使用しないでください。
- (3) パイプや継手が傷ついた場合や座屈した場合は使用せずに、必ず取り替えてください。
- (4) 直射日光が当たるとパイプが劣化します。日光が直接当たらないように、必ず遮光処置を施してください。
- (5) 継手には継手用保温材を取り付けてください。

架橋ポリエチレン管、継手用保温材には耐候性がありません。
露出する部分は耐候性テープで必ず遮光処置も施してください。

- (6) 継手を埋設する場合は必ず防食テープ等で保護してください。
- (7) パイプと継手の接続部分に極端な曲げ外力をかけないでください。パイプが座屈または破損する恐れがあります。
- (8) パイプ曲げ半径は 150mm 以上となります。
無理に曲げないでください。
万一座屈した場合は、新しいソパイプと取り替えてください。



3. パイプの規格と使用条件

- (1) 架橋ポリエチレン管は JIS K 6769 PN15 XM、および JIS K 6787 XM に準じています。
- (2) 架橋ポリエチレン管および継手の最高使用温度は 95℃以下、その時の使用圧力は 0.65MPa 以下となります。

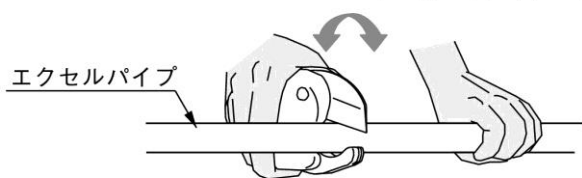
使用温度 (℃)	0～20	21～40	41～60	61～70	71～80	81～90	90～95
最高使用圧力(MPa)	1.50	1.25	0.95	0.85	0.75	0.70	0.65

【工事説明書】

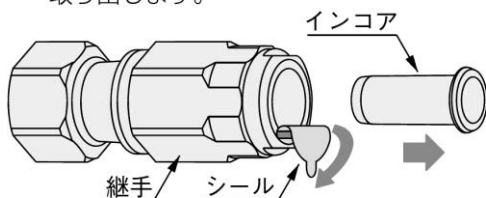
ワンタッチ継手の接続方法

- ① パイプカッターを用いて管軸に直角になるように切断してください。

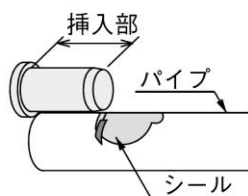
※2mm以上の斜め切断や
のこ歯、カッターナイフ
での切断は不可です。



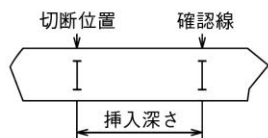
- ② 継手に貼られたシールを剥がしインコアを取り出します。



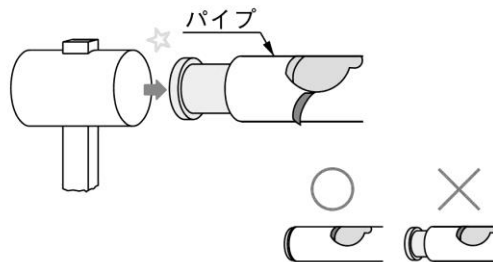
- ③ 剥がしたシールをインコア挿入部の長さに合わせ、パイプに貼付けます。



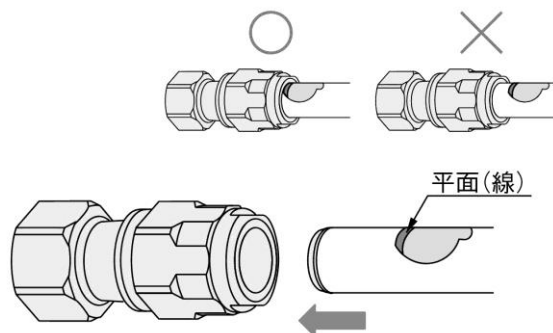
もしくは、パイプに印字されているラインに
合わせて切断することで挿入深さの
目安になります。



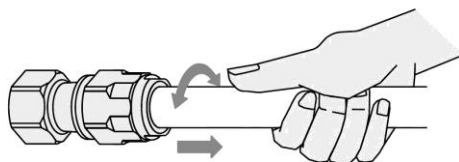
- ④ インコアをパイプに差込みます（根元まで完全に押し込んで下さい）。
指で差し込みづらい場合は、木ハンマーで圧入
してください。



- ⑤ パイプを継手に押し込みます。
シールの平面または、マーキングの位置が
継手の端面まで入ると正しい施工です。



- ⑥ パイプが引張り抜けないかを確認します。
パイプを少し回転させ、継手となじませます。
挿入深さ確認のため、シールは貼付けたままに
してください。



<注意>

1. 接続の前に、パイプ表面にキズや汚れがないかご確認ください。
2. パイプは樹脂管用のパイプカッターで切断してください。
＜参考型番＞パイプカッターVC-28 取り扱い：三菱ケミカルインフラテック(株)
3. 差し込み不足の場合、不完全な接続となり、漏水につながります。
4. パイプ差し込みは確実に挿入深さまで行ってください。
5. 一度、接続した継手は、再利用しないでください。
6. 配管施工時には、パイプ、断熱材にキズがつかないように注意してください。